

OGSS (Ver.1.0.2.6) の基本的な使い方 ①



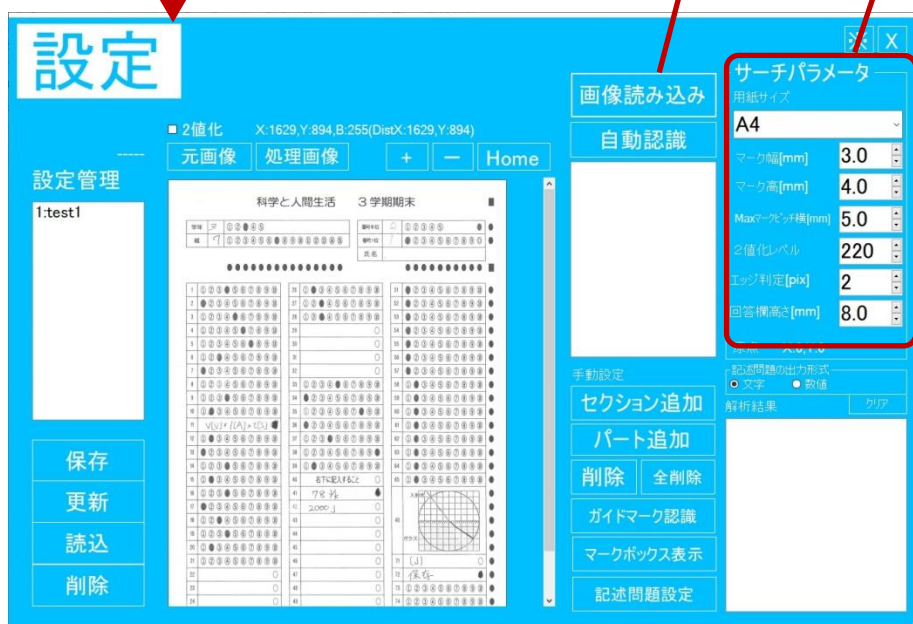
メインメニュー

① 読み込む画像を選択します

読み込むフォルダ内のどれか1枚を選択すれば大丈夫です

② サーチパラメータを変更します

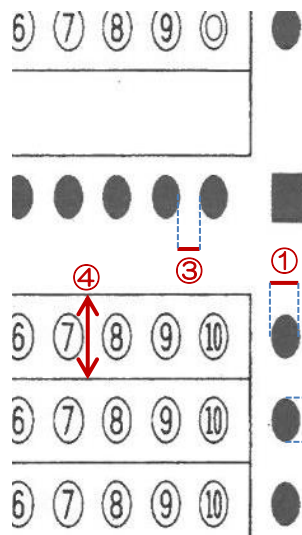
サンプルの画像を使うのであれば、
画像の通り入力すれば大丈夫です



サーチパラメータについて

実際に印刷した解答シートのガイド
マークの大きさを定規などを使って
実測した数値 (mm) を入力します。

- ・マーク幅は左図の①の長さ
- ・マーク高は左図の②の長さ
- ・Maxマークピッチ幅は③の長さ
パートの自動判定に使います。
正確には解答シートの全てのパート
を比較して、ガイドマーク同士
の距離の最も長いパートの値を入
力します。
もし、パートがおかしい場合、実
測値より少し大きめの数値を入れて
みて下さい。
- ・解答欄の高さは④の長さ
記述問題採点で使います。
記述問題がない場合は気にする必
要はありません。



解答シート右上の拡大

③ 【自動認識】 ボタンをクリックします

OGSSが画像解析を行い、セクション、パートを自動で認識し
ます。問題の順番や、マークする位置等も自動で認識します。

自動ボタンをクリックした後、【ガイドマーク認識】をクリック
後に【マークボックス表示】をクリックしてみてください。

手でセクションやパートの設定ができます。自動認識が
上手くいかない時に試してください。

画像の赤枠や黄色の枠をドラッグすることで範囲を調整
することができます。

⑤ 記述問題設定

記述問題があり、画像切り抜き採点を行う場合に設定します。
記述問題がない場合は何もなくて構いません。

細かな設定方法は別紙で説明します。

⑥ 認識したエリア情報などを保存します

現在のセクション、エリア情報などを保存します。この情報を
基に解答シートの読取を行います。

名前の入力が必要ですが、任意で構いません。

保存が終わったら、【設定】画面は終了し、スタート画面から
【読取】画面を開いてください。

両面印刷の場合

表面の設定を保存後、裏面の設定を行います。
裏面の画像を読み込み、同様の手順で自動認識をさ
せて設定保存して下さい。

(表面、裏面と2個別々に設定保存します)

OGSS (Ver.1.0.2.6) の基本的な使い方 ②

記述問題採点設定の方法

(記述問題がない場合は設定の必要はありません)



① 記述問題の出力形式

csvファイルに出力する値を設定します。

文字・・・○、△1、△2、△3、×で出力されます。

数値・・・詳細設定で決定した数字を出力します。

数値は0～50の値で任意に設定できます。

② 個人識別欄

生徒識別コード（出席番号）の入力に必要な欄の数を入力します（生徒識別コードの桁数ではありません）。

③ 問題の開始番号を入力して下さい。

表面の場合、1番からスタートになりますが、裏面の設定の際には、裏面の問題の始まる番号を入力して下さい。

④ 記述問題の番号を入力します

必ず入力する必要があります。解答用紙の番号を入力して下さい。【Enter】キーで決定できます。行数が1行であれば、番号入力、【Enter】キーで入力完了します。

⑤ 正答を入力します

任意で入力します。空欄でも構いません。

後の採点画面でここに入力した正答が表示されます。

⑥ 行数

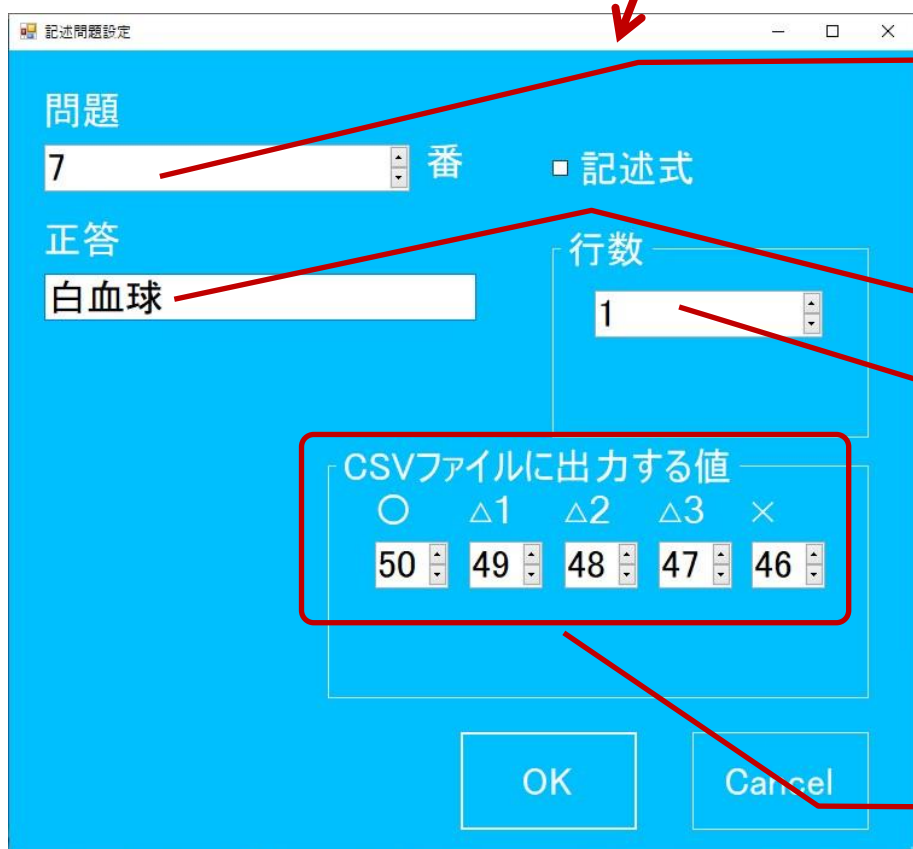
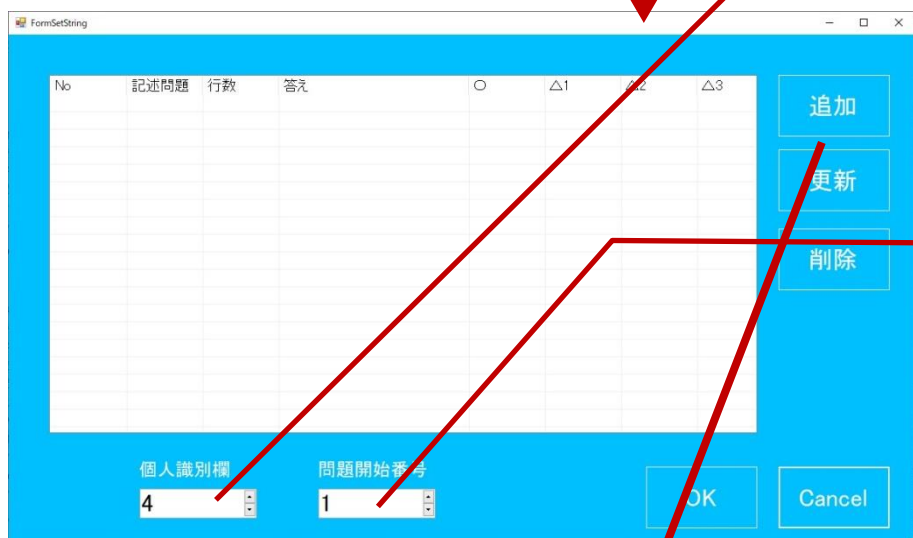
解答欄が複数行にまたがる場合に、解答欄の行数を入力します。

通常は1行です。

⑦ CSVファイルに出力する値

設定画面の①記述問題の出力形式で【数値】を選択しているとこの値を出力します。

【文字】を選択している場合は関係しません。

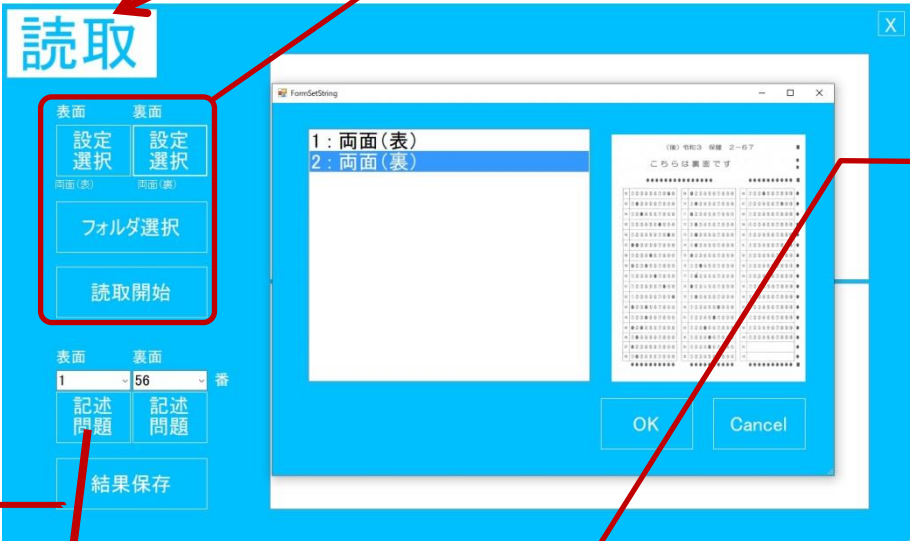


【Tab】キーでカーソル移動できます。

OGSS (Ver.1.0.2.6) の基本的な使い方 ③



- ① 画像ファイルを読み込み、CSVファイルで出力
上から順にクリックしていきます。
- 設定選択・・・設定メニューで保存した設定を選択します
- フォルダ選択・・・読み込むフォルダを選択
- 読取開始・・・上記終了後、クリック
- （両面読取は設定選択で表面、裏面を別々に選択します）



- ② 一括〇×、ソート、前の／次の問題
- 一括〇×・・・全てを〇または×にします。正答率に応じて活用してください。
- ソート・・・空欄のものを下にします（黒ピクセルの多いものを上位に持って行きます）。空欄解答を効率よく×にできます。
- 次の問題・・・今採点している問題の〇×を保存して、次の問題に移ります。
- 〇×非表示・・・【スペース】キーを押している間、〇×が非表示になります。
- ※記述問題採点では、全てキーボード操作可能です

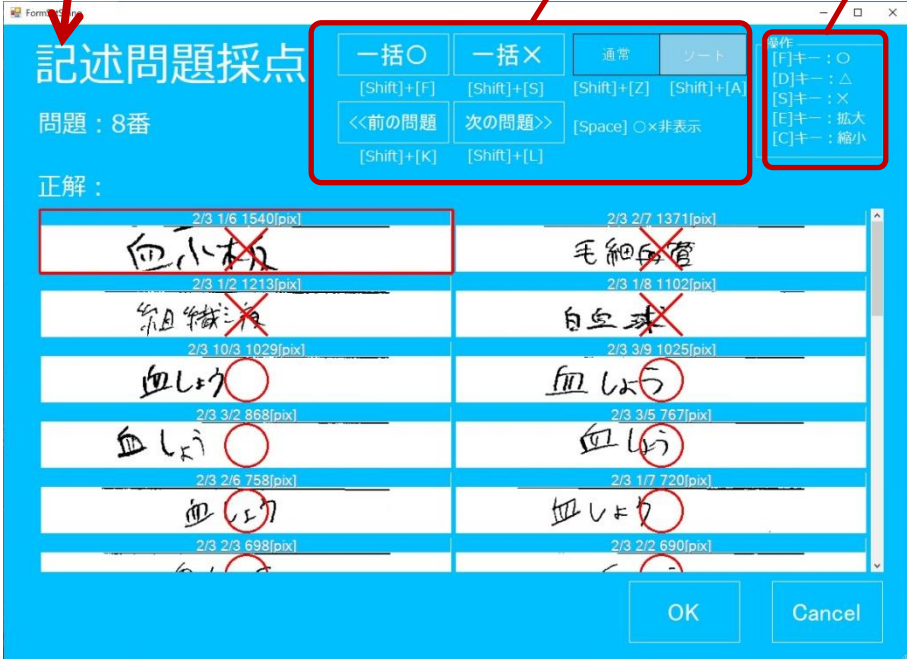
ソート・・・空欄のものを下にします（黒ピクセルの多いものを上位に持って行きます）。空欄解答を効率よく×にできます。

○×非表示・・【スペース】キーを押している間、○×が非表示になります。

※記述問題採点では、全てキーボード操作可能です

- ### ③ キー操作の説明
- マウスクリックでも○×できますが、キーボード操作の方が効率的です。矢印キーで答案を選択、各キーで○×を付けられます。
- 画像が見つからない場合、拡大（Eキー）、縮小（Cキー）もできます。適宜活用して下さい。

画像が見つらい場合、拡大（Eキー）、縮小（Cキー）もできます。適宜活用して下さい。



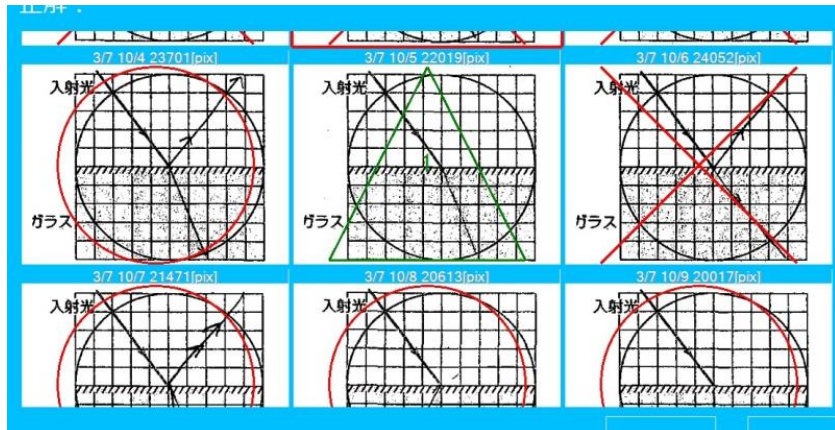
- #### ④ 結果保存
- 記述問題採点后、CSVファイルに保存します。
- ※注意
- 採点機能はついていません。出力されるデータはあくまで、設問に対する解答をデータ化したものです。採点は別途エクセルファイルを作成し、CSVファイルを取り込む必要があります。今後、採点機能を予定です。

※注意

採点機能はついていません。出力されるデータはあくまで、設問に対する解答をデータ化したものです。採点は別途エクセルファイルを作成し、CSVファイルを取り込む必要があります。今後、採点機能を予定です。



複数行にまたがる場合の表示（2行）



複数行にまたがる場合の表示（5行）